

山木議員

説明資料

持続可能な農業と農地保全について

1 ページ目 現状と課題



現状

- 高温・少雨による農作物への影響
- 肥料・燃料・農業資材・農業機械の価格高騰
- 農業従事者の高齢化・担い手不足
- 畦畔や農道の草刈り負担の増大

課題

- 熱中症など命に関わる危険
- 機械更新の負担
- 農地の維持管理が困難
- 耕作放棄地の増加への懸念

亀岡市の視点



安全



営農
継続



農地
保全



農業者の経営と安全を守り、農地を次世代へつなぐことが重要

持続可能な農業と農地保全について

2 ページ目 提案



① 高温・少雨への支援拡充

- ・ 設備・資材・対象品目の拡充
- ・ 現場の声を反映



② 亀岡版「農業お助け隊」

- ・ 草刈り・田植え・稲刈りを支援
- ・ 人材マッチング



③ 共同利用・スマート農業

- ・ 農業機械の共同利用
- ・ ドローン・自動水管理



④ 地域で農地を守る仕組み

- ・ 地域・行政・関係機関が連携
- ・ 農地を次世代へつなぐ



⑤ 参考 栗原市の草刈り支援

 対象 70歳以上

 補助 3分の1

 上限 10万円



安全確保



営農継続



農地保全

高齢農業者を支え、営農継続と農地保全につなげる

落雷から市民と公共施設を守る対策について

1 ページ目 現状と課題



現状

- 落雷による人的被害や公共施設の機器被害のリスク
- 学校・スポーツ施設・水道施設・自治会館など多くの施設が対象
- 避雷設備の設置状況や過去被害の把握が必要
- 近年、局地的な雷雨が増加

課題

- 雷接近時の活動中止・避難基準を明確にする必要
- 雷警報器・雷監視システムの活用
- 避雷設備・修繕費用・被害履歴の整理
- 人命と行政機能の両面を守る対策が必要

亀岡市の視点



人命



施設
保護



行政
機能



雷接近を早く知り、早く避難し、施設被害も減らすことが重要

落雷から市民と公共施設を守る対策について

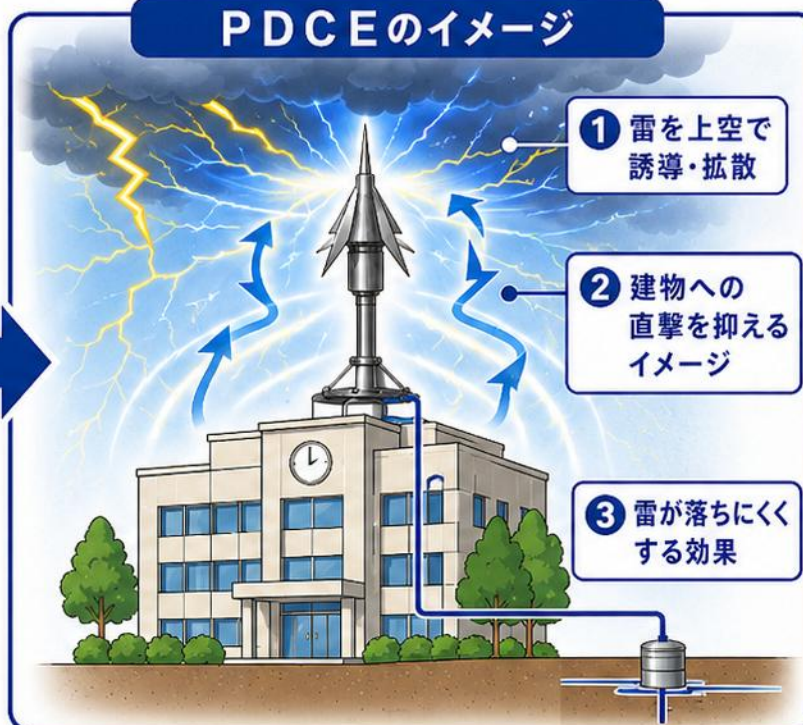
2 ページ目 提案

P D C E 落雷抑制型避雷針の提案

従来のイメージ



P D C E のイメージ



期待される効果

- 建物への直撃リスクを低減
- 学校・スポーツ施設・水道施設を守る
- 機器故障や停電のリスク軽減
- 事故や修繕費の抑制につながる

亀岡市への提案

- ① 安全性・規格適合性を調査
- ② 導入費用・費用対効果を比較
- ③ 高リスク施設でモデル導入を検討
- ④ 効果を検証し必要施設へ展開



調査



比較



モデル導入



効果検証

事故や大きな被害が起きる前に備える

下水道マンホールからの害虫対策について

1 ページ目 現状と課題



現状

- 下水道マンホールや雨水枡からの害虫発生に関する相談がある
- 西つつじヶ丘で対策が予定
- 現地確認を行い発生場所や状況を把握
- 市民の不快感・不安につながる

課題

- 発生状況の継続把握が必要
- 物理的対策と必要に応じた駆除の組合せを検討
- 対策後の効果検証が必要
- 相談窓口や市の対応の周知が必要

亀岡市の視点



把握



対応



検証

発生状況を把握し、効果的な対策につなげることが重要

下水道マンホールからの害虫対策について

2 ページ目 提案



西つつじヶ丘をモデルケースに、
効果的な対策を必要地域へ！

対策実施



効果検証



必要地域へ展開



① マンホールキャップ等の設置

- 小さな開口部からの害虫侵入を抑制



② 密閉型マンホール蓋への交換

- 隙間の少ない蓋で侵入・飛び出しを防止



③ 清掃・点検の実施

- 定期的に清掃・点検し発生源を抑制



④ 西つつじヶ丘で効果検証

- 継続確認し、対策効果を検証



⑤ 他市事例を参考に対策充実

- 堺市：キャップ等
- 福岡市：蓋穴閉塞・清掃・逆止弁



⑥ 相談窓口と市の対応を周知

- ホームページ等で分かりやすく案内



把握

対応

検証

快適で衛生的な生活環境へ